

第28回佐世保市子ども・子育て会議に係るアンケート調査票の意見聴取について(集約後)

○議題(1) 資料1「佐世保市子ども・子育て支援に関するアンケート(案)」における委員から頂いたアンケート調査票に関するご意見

意見箇所	ページ番号	意見内容	反映箇所	ページ番号	佐世保市としての考え方
1 問8	3	選択肢8. 認定こども園だけ()書きがない。選択肢6、7も施設名称と職種が入れ替わっているので、選択肢6、7、8は統一したほうがいいのではないか。	問8	4	選択肢6、7、8の他に選択肢5においても記載の仕方を統一しました。
2 問24	12	市内で市の委託の学童と、自主事業の学童があるが、区別しなくてもいいのか。	問24	13	0歳から5歳の子どもの保護者が、子どもを放課後の時間に過ごさせたい場所として、市が委託する放課後児童クラブなのか、自主事業の放課後児童クラブなのか判断するのは難しいものと考えております。しかしながら、今後、小学生の保護者を対象とした放課後の過ごし方に関するアンケート調査において、放課後児童クラブの現在の利用状況等に関する設問の中で反映できないか検討いたします。
3 全般		第26回子ども・子育て会議当日の中で、一般企業等に対する意識を問うような設問が必要とあるが、就労先の子育てに対する理解を問うような設問は出来ないのか。			3月末に実施するアンケート調査につきましては、0歳～5歳の子どもを持つ保護者を対象に、子ども・子育て支援法に基づく、地域子ども・子育て支援の利用状況や利用希望等を把握するための定点観測的な調査となっております。一般企業側の子育てに対する意識や理解を問うような調査につきましては、事業者とも相談しながら今後検討していきたいと考えております。
4 全般		無作為のアンケートではなく、すべての子育て世帯に対してアンケートを行えないのか。			一般的に、統計調査においては、アンケート回収数(標本数)の目安は1,000件と言われており、1,000件を超えると、誤差はあまり生じなくなるとされております。今回のアンケート調査では、回答率を40%と想定しており、配付数3,000に対し、標本数は1,200件となると見込んでおりますが、分析を行うにあたり、信頼できる数であると考えております。
5 問34	19	個人的にあまり見慣れない質問の仕方だったのですが、この設問ではそれぞれの家庭内に居る人のみで100%になるようにという認識で、仮に父親などいない場合は父親の行は「ほぼ0%」ではなく、記入の必要はないということでしょうか。それならばもし間違えて父親がいない家庭で「ほぼ0%」と記入した場合は、集計する際に男性の育児参加率が低いという間違った結果に繋がってしまう恐れがあるのではないのでしょうか。	問34	21	アンケート調査票の問6において「配偶者の有無」の設問があるため、ひとり親家庭かどうかを把握できますので、集計する際に間違った結果につながる恐れはないと考えております。しかしながら、当該設問は回答方法が分かりにくい部分もありますので、設問もシンプルな表記に修正し、市民の方にも理解していただけるように「記入例」を設けました。
6 全般		詳細にわたる質問項目が立てられ、選択肢も網羅的に提示されていると思う。その反面、内容が繁雑であるため、例えば、質問文と回答欄のフォントを変えるなどの配慮があると良いかもしれない。	全般		今回のアンケート調査票において、文字のフォントはユニバーサルデザインを考慮した「UDフォント」と呼ばれる書体を採用しており、市民の方がわかりやすく、文字が読みやすいような対応をしておりますが、「設問」と「回答」の文字の色にメリハリ(設問は黒、回答はグレー)をつけることで、市民の方がより見やすくなるような工夫をいたしました。

○議題(2) 資料2「佐世保市子ども・子育て会議 次期プラン策定分科会委員名簿」に関するご意見

意見内容
意見なし